

第3回 千曲市自転車活用推進計画検討委員会

会議次第

日時 令和2年12月21日（月）
午後1時30分～
会場 市役所301C会議室

1. 開 会

2. あいさつ

3. 会議事項

(1) 第2回委員会での主な意見と対応

資料1

(2) 現計画の進捗状況

資料2

(3) 自転車活用推進の具体施策

資料3-1、資料3-2

(4) 今後のスケジュール

資料4

4. その他

5. 閉 会

令和2年度 第2回千曲市自転車活用推進計画検討委員会での
主な意見と対応

	主な意見	対応（案）
全般	計画の実現に向けたロードマップを示していくために、より具体的な施策を示すべき。	→第5章で具体的な施策案、第6章では目標指標を示しています。
健康増進	健康増進だけでなく、脱炭素社会実現に向けた自転車の活用も強調してほしい。	→「5-2 健康増進」を「5-2 健康・環境」に変更し、「施策 13 環境負荷が低い交通手段への転換」を追加しました。
観光振興	道の駅を整備し、サイクリストが駐車を活用できれば便利である。	→サイクリスト駐車場の活用については、現在白鳥園の指定管理者と協議・調整中となっています。
	白鳥園の駐車をサイクリスト駐車場として提供できないか。	
	サイクルトレインは、通勤時間帯や乗降できる駅を限定するなど工夫して実施されている事例がある。	→サイクルトレインは、鉄道事業者と連携し、まずは試験的な実施に向けた検討を進めていきます。
	ポータルサイトの整備状況を教えてほしい。	→ポータルサイトは、R2年6月  にオープンしています。
交通安全	学校での交通安全教育に頼ってしまっている現状を改善していく必要があるのではないか。	→保護者自身が自転車ルールを理解し、家庭において交通安全教育を実施できるように、学校やPTAなどと連携していきます。
	千曲市に大人用ヘルメットを購入できる店がないため、ヘルメット購入フェアなどを開催してはどうか。	→ヘルメットの重要性を広報啓発するとともに、ヘルメット販売店においてキャンペーン活動などを実施していきます。
	死亡事故は高齢者の単独事故が多くなっているため、ヘルメット着用についても併せて啓発してほしい。	

◇千曲市自転車活用推進計画（R2.3 策定）の進捗状況

施策項目	具体施策		進捗状況 (R2 年度実績、予定含む)	実施スケジュール			担当課等	
				短期 (R2~)	中期 (R5~)	長期 (R9~)		
1. 自転車ネットワーク路線の整備推進	1) 自転車ネットワーク路線の整備	・選定したサイクリング目的の自転車ネットワーク路線を対象に、路面表示や案内看板による整備を推進する。	◇下記サイクリングコースを整備済み <コース名> <整備年> ① 千曲川サイクリングコース 舗装リニューアル ~ 令和3年度 ② 温泉街ループコース 平成30年度 ③ カ石を訪ねるコース 平成30年度 ④ 蔵の町稲荷山コース 令和元年度 ⑤ 田毎の月・棚田コース 令和元年度 ⑥ あんずの里コース 令和元年度 ⑦ 天狗公園ヒルクライム 令和2年度 ⑧ 姨捨山周回ヒルクライム 未整備 ⑨ 大田原ヒルクライム 令和2年度		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■		建設課
	2) 多様な自転車を楽しめるコースの整備	・幅広い年齢の自転車利用者や多様な自転車を楽しめるコース整備に向け、既存施設の活用も含めた整備候補地の選定、整備を実施していく。	◇令和5年度以降の実現に向けて検討予定			■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	観光交流課 農林課
2. 受入環境の整備	1) レンタサイクルの実施	・民間事業者や観光事業者と連携し、千曲市内外を周遊することができるレンタサイクルやシェアサイクルの実施を検討する。	◇レンタサイクルやシェアサイクルの実現可能性などについて検討予定		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■		観光交流課
	2) サイクリング拠点の認定・整備	・サイクリングルートに沿線の商業施設や宿泊施設、公共施設などをサイクリング拠点の「自転車の駅」として認定する。	◇下記施設を自転車の駅として認定済み ① 亀清旅館、② 荻原館 ③ ファミリーマート信州上山田温泉店 ④ RAUM 戸倉宿 萱 令和2年度中に3施設追加予定		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	
	3) サイクリスト駐車場の整備	・千曲市内をサイクリングするサイクリストのために、公営駐車場の整備を行う。 ・日帰り温泉や旅館などを利用した場合などに、無料で利用できる駐車場の整備を支援する。	◇サイクリスト駐車場の活用については、現在白鳥園の指定管理者と協議・調整中。また、千曲川緑地公園についても協議・調整中。		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■		観光交流課 生活安全課 都市計画課
	4) サイクルレスキューの体制構築	・自転車店や自転車関連団体などと連携し、簡単な修理や搬送などに対応できる救護体制の構築を支援する。 ・「自転車の駅」のスタッフを対象とし、パンクなどの簡易な修理に関する自転車点検講習会を開催する。	◇令和5年度以降の実現に向けて検討予定			■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	観光交流課

施策項目	具体施策		進捗状況 (R2 年度実績、予定含む)	実施スケジュール			担当課等	
				短期 (R2~)	中期 (R5~)	長期 (R9~)		
3. 公共交通機関との連携強化	1) 鉄道駅のサイクリング拠点化	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者との連携を図り、鉄道駅のサイクリング拠点化を目指す。 ・公共交通機関を活かしたサイクリングの楽しみを開拓し、情報を発信する。 	◇戸倉駅周辺の活性化策と併せて、戸倉駅における拠点化整備も検討予定	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	観光交流課 生活安全課	
	2) サイクルトレインの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者と連携し、サイクルトレインの運行を目指す。また、自転車の持ち込みにおいて支障となる、駅構内の段差の解消などについても支援する。 	◇サイクルトレインは鉄道事業者と連携し、まずは試験的な実施に向けて検討中 (R2 サイクルトレインイベント中止経過あり)	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	生活安全課	
	3) サイクルバスの運行	<ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者と連携し、市内を運行する循環バスにおいて、利用ニーズや課題を把握した上で、サイクルバスを運行する。 	◇令和5年度以降の実現に向け、需要把握も含めて検討予定		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■		
4. 自転車関連イベントの開催	1) 地域資源を活かした自転車関連イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者や観光事業者と連携し、自転車関連イベントを開催する。また、姨捨の棚田・稲荷山・あんずの里の各地において、ガイド付きサイクリングツアーを開催する。 	◇ずくだしエコツアー（主催：亀清旅館 タイラー氏）において、ガイド付きサイクリングツアーを実施中。 ◇その他ガイド付きサイクリングツアーについては、自転車関連イベントの開催と併せて実施を検討予定	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	民間 観光交流課	
	2) 市民を対象とした自転車関連イベントの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が自転車を楽しむきっかけを作り、自転車利用を促進するために、自転車関連イベントを開催する。 	◇千曲ランで、サイクリングとの連動を検討中（白鳥園） ◇令和2年度千曲市協働事業提案制度に「サイクリングスタンプラリー in ちくま」が採択され、令和3年度のイベント開催に向けて計画中	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	スポーツ 振興課 民間	
5. PRの強化	1) サイクリングマップの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設や公共施設、道の駅などサイクリストが立ち寄る施設にサイクリングマップを設置する。 ・サイクリングルートスマートフォンなどで閲覧することができるように、民間のサイクリングルート共有サイトなどを活用して、情報発信を目指す。 	◇サイクリングマップを公共施設、観光施設に設置。 ◇サイクリングルートは、下記ホームページにおいて、google map 上で確認できるよう整備		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	観光交流課
	2) ポータルサイトの整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・市内のサイクリングルートや自転車の駅、おすすめスポットなどのサイクリングに役立つ情報を発信するとともに、サイクリングのルールを周知啓発するためにポータルサイトを整備し、定期的に情報の更新を行う。 	◇6月に「ちくまサイクリング」ホームページを開設し、サイクリングルートに関する情報を発信中 ◇自転車の駅などに関する情報は今後整備予定		■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	
6. サイクルツーリズムに関する地域連携の推進	1) 先行事例の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・県内でサイクルツーリズムの促進に取り組む白馬村や伊那市、飯山市などの市町村の取組を調査するとともに、ナショナルサイクルルートに指定される3ルートなどを全国的な先行事例として調査し、本市のサイクルツーリズムの促進に活かす。 	◇10月にビワイチや加賀市、金沢市などの視察を行い、サイクルツーリズムに関する事例を研究	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■		
	2) 他地域とのネットワークづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外からの誘客を促進するためには、サイクルツーリズムの広域連携が不可欠であることから、県内市町村や県外都市との連携を図り、サイクルツーリズムに関する都市間のネットワークづくりを推進する。 	◇長野県のJapan Alps Cycling Projectへ参加し、適宜県内の他自治体と連携（科野さらしなの里サイクリング推進委員会）	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■	■ ■ ■ ■		